

Acueil News

アクイール ニュース

令和4年3月号(97号)

編集・発行

特別養護老人ホームアクイール

広報委員 担当 今井

我孫子市岡発戸1498

☎04-7165-6511

新型コロナウイルス感染症 クラスター収束のお知らせです

2月6日にクラスターの定義となる累積5名以上の陽性者を確認してから34日目の3月12日をもって、収束となりましたことをご報告いたします。

この度、コロナウィルスに罹患されてしまいましたご利用者と、そのご家族の皆様には、大変な思いをされたこと、不安な日々をお過ごしになられたことに対して、職員を代表して、お詫び申し上げます。また、収束に向けて、勇往邁進してくれた職員に敬意を表します。全国の病院や、高齢者施設でのクラスターが相次ぐ中、まだまだ予断を許さない状況ですが、引き続きご利用者のケアと職員の健康管理に努めていきますので、よろしくお願いいたします。

施設長 渡 邊 豊



待ちに待った喫茶店 再開



喫茶店が再開しました。ほとんどの方が、迷わずに、一番人気のクリームソーダを注文していました。「クリームソーダは、見た目もキレイだし、アイスも乗っかってるし最高だよ」とおっしゃっていました。



見慣れた職員がガウンを着てマスクをしてフェイスシールドを付けていると、「みな同じ人に見える」「誰?」とよく言われました。やっと、ガウン・フェイスシールドを外し軽い気持ちで、ご入居者の傍に行きお世話できる事をうれしく思います。

デイスカスの赤ちゃん50匹



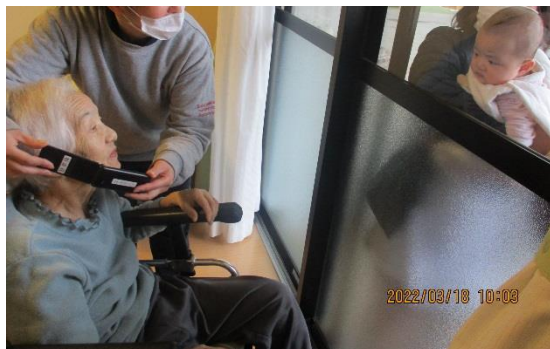
今までも、何度か卵が孵化しましたが、環境が悪かったり、親に食べられてしまったりと、残念ながら大きく育つ事はありませんでした。しかし令和4年1月23日に孵化した赤ちゃんが、親の体から出るミルクで、約2センチ程までに大きく成長しました。親が疲れてしまったので、水槽を別々にしましたが、やはり、気になるようで水槽越しにじっと眺めています。



車いすの修理やってます

修理は、お任せ

ご入居者の身体の一部になっている、生活に欠かせない車いす。開設して9年目に入りますと、どうしてもガタがきてしまい、一番多いのがパンク...すると、相談員の金井さんが、自転車屋さんで代わってパンク修理をしてくれます。手慣れたものであつという間に直してくれます。特に、リクライニング式車いすは、外に修理に出すと時間がかかるので、みんなとても助かっています。



窓越し面会
再開しました

引き続き、窓越しではありますが、面会を再開いたしました。皆さまの予約をお待ちしております。

面会時間

10:30 10:45 11:00 11:15
14:00 14:15 14:30 14:45



～今月の看板～



ウクライナの国旗と同じ水色や黄色のキャラクターを集めてみました。下にあるマークは平和の象徴「ピースマーク」です。☺
「ピースマーク」は「核軍縮」を意味しています。テレビを点ければ戦争のニュースばかり。毎日のように幼い子供たちの悲しい顔が報道され涙がでてしまいます。日本がどれ程に幸せなのかを考えさせられながら、毎日を大切に過ごしたいと思います。世界の平和が1日でも早く訪れる事を願います。



ある人の22年ぶりの独り暮らし

就職して間もなく、独り暮らしを2年間したのが20歳の時。それから22年ぶりに独り暮らしを経験いたしました。コロナに感染されてしまったご入居者のケアを躊躇せずにできるように。もし、自分が感染して家族にうつしてしまうという不安を解消するため、収束までの間、独り暮らしをすることにしました。法人で借り上げている2DKの綺麗なアパート。眺望もよく、静かな環境は最高でした。しかし、仕事が終わりと、ドアを開けると真っ暗でシーンとした部屋に入り、お風呂に入ってごはんを食べて寝るだけの生活。漫画で時間を潰そうと沢山持ちこみましたが、手つかずの状態。時間はいっぱいあったのに、仕事が終わったら、わざわざ遠回りして帰ってみたいと、なんとも勿体ない生活でした。自宅に居る時や仕事中は、独り言を言っていると指摘されることもありますが、本当に独りの時はそれもなく、出勤した時に、初めて「おはよう」と言葉を発し、声の調子を確認する。なんとなく、自分の存在が薄っぺらくなった気分...それなのに、独り暮らしもそろそろ終わりかな。と考えだした辺りから、ちょっと居心地が良くなりつつある自分が見えはじめ...でしたが、自分のPCR検査の陰性を確認し、ガヤガヤと忙しい愛する我が家に無事に帰宅いたしました。というある人の2週間の独り暮らし生活でした。



